



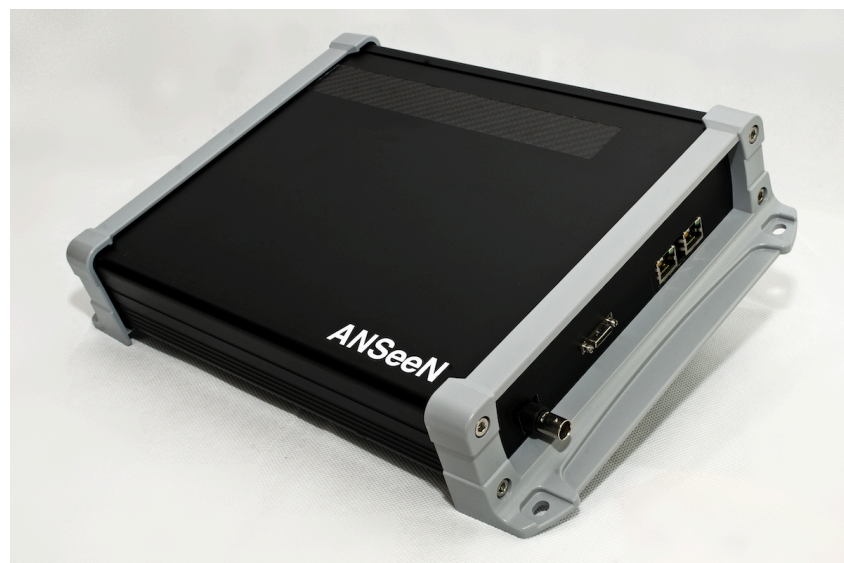
2020年9月7日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

### 超高感度・高解像度X線カラーイメージセンサ開発のANSeeN社へ資本出資 ～AI時代の画像解析精度向上に寄与するコア技術を強化～

CYBERDYNE株式会社(茨城県つくば市、代表取締役社長:山海嘉之、以下「当社」)は、超高感度・高解像度X線カラーイメージセンサを開発するANSeeN株式会社(本社:静岡県浜松市、代表取締役CEO:小池昭史、以下、「ANSeeN社」)へ資本出資を行いましたので、お知らせいたします。また、同時に、当社の子会社であるCEJキャピタル株式会社が運用するサイバニクス・エクセレンス・ジャパン1号投資事業有限責任組合(以下「CEJファンド」)からもANSeeN社に対して出資を行っております。



X線の色情報を取得可能な超高解像度X線イメージセンサを搭載したX線カラーカメラ

当社は、独自技術を有するスタートアップに技術アドバイス、資金供給、事業支援などを行うイノベーション・エコシステム「C-Startup」により、『人』+『サイバー・フィジカル空間』の融合を軸とし、社会課題の課題を解決する新産業『サイバニクス産業』の形成を加速させています。当社が開催した、人と社会の課題解決のための新産業の創出を志すスタートアップ企業やアントレプレナーを広く募集するためピッチイベント「C-Startup pitch」(2019年12月CYBERNICS EXPO 2019内にて実施)において、ANSeeN社は優秀賞を獲得し、その後の協議を経て、この度の資本出資に至りました。



C-Startup Pitch の授賞式：受賞者(最前列)の左側が 小池代表取締役 CEO

ANSeeN 社は、X 線の光子（光子）の特性を引き出す高速計測処理技術により、超高感度・高解像度の X 線カラーイメージセンサを実現した静岡大学発のベンチャー企業です。従来の X 線センサと比較して、約 100 倍の感度があり、カラー（波長）情報も得ることができる点に大きな特徴があります。現在、AI による画像解析が様々な領域で活用されつつありますが、ANSeeN 社のセンサを活用し、データ自体の精度を向上させることにより、より高精度な画像解析が可能となります。

当社は装着型サイボーグ HAL<sup>®</sup>をはじめとする様々なサイバニクス技術を開発し、そこから得られる IoH/IoT ビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI 処理などを実現するサイバニクス・プラットフォームの構築を行っています。ANSeeN 社との連携により、より高精度な IoH/IoT ビッグデータを集積し、様々な分野での「見える化」を進展させることにより、人や社会の課題解決に貢献する『サイバニクス産業』をさらに発展させてまいります。

(参考リンク)

C-Startup について:

[https://www.cyberdyne.jp/wp\\_uploads/2019/11/20191106\\_PR\\_C-Startup.pdf](https://www.cyberdyne.jp/wp_uploads/2019/11/20191106_PR_C-Startup.pdf)

ANSeeN 社プレスリリース:世界初の新規化合物半導体 X 線カラーイメージングセンサ開発を行う ANSeeN がサイバーダイン社主催の「C-startup pitch 2019」にて優秀賞を受賞

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000038353.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

CYBERDYNE株式会社 広報・IR 担当

TEL: 029-869-9981

<CYBERDYNE 株式会社について>

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT 産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。

当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT 化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI 化された HAL<sup>®</sup>に代表されるサイバニックシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやパソコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られ



た全てのIoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。詳細は、<https://www.cyberdyne.jp>をご覧ください。

以上